



2026年2月号
友田保育園

花粉症の時期になりました。本格的に症状が出てから治療を始めても、ピーク時の辛さを抑えきれないことがあります。2026年は東日本や北日本で飛散量が多いことが予測されるため、早期治療が特に重要です。症状が強い場合はお薬の見直しも可能ですので、我慢せず医師に相談しましょう。

<1月の子どもたちの様子>

感染症は、幼児クラスで「水痘（水ぼうそう）」が1名、乳児クラスで「突発性発しん」が1名と「伝染性膿痂しん（とびひ）」が1名いました。鼻水がひっきりなしに出たり、咳が出るお子様が見られました。突発的な高熱のため、受診したがインフルエンザやコロナの検査をしても陰性という報告もありました。中旬以降は、乳児クラスで嘔吐や下痢でお休みするお子様が多くいました。

2月20日はアレルギーの日



アレルギーとは・・・私たちの体には、細菌・ウイルス・寄生虫などの感染性微生物や異物などから、身を守るための「免疫」という仕組みが備わっています。この免疫の働きが、現代文明による環境やライフサイクルの変化によって異常を起こし、くしゃみ、発疹、呼吸困難などの症状を起こしてしまう状態を言います。

アレルギー疾患・・・食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）、アレルギー性結膜炎、気管支喘息（ぜんそく）、薬剤・昆虫アレルギーなど・・・症状や経過とも多様な疾患が含まれます。

アレルギー・マーチってなに?・・・小児期には、上記の疾患が、乳幼児期のアトピー性皮膚炎を始まりとし、続いて食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎と次々と異なる時期に出現してくることが多く、これを「**アレルギー・マーチ (atopic march)**」と呼びます。近年、小児のアレルギー疾患が増加する中で、この「**アレルギー・マーチ**」の発症、進展を予防することが重要な課題であり、そのための早期診断、早期介入の研究が進められています。



アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症など・・・

アレルギー性鼻炎:くしゃみ、鼻みず、鼻づまりを主な症状とする疾患で鼻アレルギーとも呼ばれます。アレルギーの原因であるアレルゲン（抗原）が鼻の中に吸入されてマスト細胞上のIgE抗体に結合することによって症状が発現します（I型アレルギー）。症状が現れる時期によって、「**通年性アレルギー性鼻炎**」と「**季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）**」に分けられます。



通年性アレルギー性鼻炎:室内のハウスダストが主なアレルゲンとされており、ハウスダストに潜むダニが大きく関わっていることが知られています。他に、カビ（真菌）やペットなどで症状が出る場合もあります。

季節性アレルギー性鼻炎(花粉症):スギやヒノキなどの花粉によって起こる季節性のアレルギー疾患です。春先に飛散するスギやヒノキだけでなく、夏や秋に特有の花粉でもくしゃみ、鼻みず、鼻づまりや目のかゆみなどの症状が現れます

アレルギー性結膜炎:アレルギー反応が原因で結膜に炎症が起きる病気で、目のかゆみが特徴的な症状とされますが、充血、異物感などの症状がみられる場合もあります。アレルギー性結膜炎の原因となる代表的なアレルゲン（アレルギーを起こす物質）には、花粉の他、ダニ、ハウスダストやペットなどが知られています。原因となるアレルゲンの種類により、アレルギー性結膜炎は「通年性」と「季節性」とに分かれます。

アレルギー疾患の発症、予防:アレルギー疾患は、遺伝要因や環境要因などが関与していると言われていますが、様々な原因や悪化因子があり、また年齢や個々の患者さんによってそれぞれ異なるため、予防法が確立していませんでした。しかし、発症のメカニズムや悪化原因などの解明が進み、少しずつ分かってきたこともあります。**代表的なものは①アトピー性皮膚炎、②食物アレルギー、③気管支喘息です。**（①から③の予防については、来月3月号でお知らせします。）

アレルギー検査でわかること

- アレルギー検査でわかること
- アレルゲン→アレルギーの原因となる物質
- ① 呼吸器から体内に侵入するもの(花粉、ダニ、ハウスダスト、動物の毛など)
- ② 食物性のも(卵、牛乳、魚類、大豆など)
- 特異的IgE (何に対するアレルギーか)
→数値が高いほど抗体が多いことを意味します。
- 非特異的IgE (アレルギー体質の強さ)
→すべての特異的IgE抗体の総和です。(基準値は170以下)

血液検査、皮膚テスト、食物経口負荷試験等で分かります。

<花粉対策の眼鏡について>

眼鏡の取り扱いやケガの心配があるため、医師から指示があったお子様のみ、園での使用を可能とします。登降園で使用の際は、保護者様の監督下でご使用をお願い致します。

2月の予定

<身体測定>

乳児クラス 2月12日(木)

幼児クラス 2月13日(金)

<乳児健診>

2月17日(火) 14:30~